

Sense of Place

終わりの始まり

サステイナブル・ Sustainable ガストロノミー Gastronomy 2025

土に学び、
暮らしをつくる

詳細・最新情報

諸事情により変更の
可能性があります。
最新情報は下記webページにて
ご確認ください。

[https://www.saci.kyoto-u.ac.jp/
event/place/other/16534.html](https://www.saci.kyoto-u.ac.jp/event/place/other/16534.html)



2025.7.6—8.2
全6回 7.19-7.20は1泊2日

京都大学 国際科学イノベーション棟 他

(フィールドワークは京都駅もしくは京都大学発着、バス移動、宿泊の予定です。宿泊は男女別相部屋になります。)

無料(飲食費、旅行保険等一部個人負担)

対象者 大学生、大学院生、研究者、社会人 | 募集人数 24名程度(選考あり)

申込締切 2025年6月22日[日] 21時 | 申込URL <https://forms.gle/XBKJ5qHmMAYNuBpt9>



矢津吉隆

Yazu Yoshitaka

美術家/ kumagusuku代表/ 京都芸術大学 美術工芸学科 専任講師

水内智英

Mizuuchi Tomohide

京都工芸繊維大学 未来デザイン・工学機構 准教授

依田真美

Yoda Mami

相模女子大学大学院 社会起業研究科・学芸学部 特任教授

高柳敦

Takayanagi Atsushi

元京都大学大学院 農学研究科 准教授

石井健一郎

Ishii Kenichiro

株式会社 Seed Bank 代表取締役/ 農学博士/ 微細藻類ハンター

谷村あゆみ

Tanimura Ayumi

名古屋大学 未来社会創造機構 脱炭素社会創造センター イノベーション部門 特任講師

主催 京都大学 成長戦略本部 | 共催 関西スタートアップ アcademia・コアリション(KSAC) | 協力 西口左官株式会社/ Qe to Hare Inc
本事業は、JST研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム(大学・エコシステム推進型 スタートアップ・エコシステム形成支援)により実施するものです。

問い合わせ先 京都大学 成長戦略本部統括事業部 エコシステム構築領域 イノベーション マネジメント サイエンス(IMS)部
e-mail: ims@saci.kyoto-u.ac.jp



京都大学



KSAC

土に触れ、見えないものの気配を感じ、未来の暮らしを想像する。本プログラムでは、「サステイナブル・ガストロノミー（持続可能な食文化）」という視点を通じて、食と暮らしの境界をひらきながら、左官、陶業、微細藻類、山とつながる食材（シビエ）など、素材と風土に根ざした循環する暮らしを多角的に学びます。アート思考や構造的思考（システミックデザイン）を取り入れ、社会課題に対して自ら問いを立て、他者と対話しながら、生きることにそのものを手ざわりから見つめ直します。このプログラムを通じて、参加者は自己と環境のつながりへの理解を深め、これからの暮らしと社会のかたちを考え、循環型社会の実現に貢献することを目指します。

土に触れ、見えないものの気配を感じ、未来の暮らしを想像する。

本プログラムでは、「サステイナブル・ガストロノミー（持続可能な食文化）」という視点を通じて、

矢津吉隆



水内智英



依田真美



高柳敦



石井健一郎



谷村あゆみ



プログラムの特徴

- i アート思考を通じて、自分自身の感性や問いに気づききっかけをつくる。
- ii “土”や“菌”といった素材との出会いから、暮らしや社会とのつながりを身体的に感じとる。
- iii 社会課題を構造的に捉える「システミックデザイン」の思考法を学び、視点のレイヤーを増やす。
- iv 発酵、建築、シビエ、微生物など、多分野にまたがる知や実践を通じて、循環型の暮らしを考える。
- v 対話やフィールドワークを重ねながら、“暮らしの再構築”を可視化し、未来の社会像を描き出す。

プログラムの目的

- i 自分が本当にやりたいことに気づき、自らの問いを“自分ごと”として深めていく。
- ii サステナビリティを単なる知識としてではなく、素材・場所・他者との関係の中で体感的に理解する。
- iii 社会や自然に内在する課題の構造を見つめ、ファクトと感性の両面から“なぜ”を掘り下げる。
- iv 一生をかけてでも取り組みたい“問い”を見出し、それを原点にしたビジョンや行動の芽を育てる。
- v こうしたプロセスを通じて、未来の暮らしや社会のあり方を、自らの手で再構築する力を育む。

日程	タイトル	講師/ゲストスピーカー
1 7月6日[日] 13:00-17:00	土で思考する! —— 土の感覚から表出するアート思考	講師 矢津吉隆 [美術家/kumagusuku代表/ 京都芸術大学 美術工芸学科 専任講師]
2 7月12日[土] 10:00-12:00	社会課題を構造で捉える —— システミックデザイン入門	講師 水内智英 [京都工芸繊維大学 未来デザイン・工学機構 准教授] 依田真美 [相模女子大学大学院 社会起業研究科・学芸学部 特任教授]
3 7月12日[土] 13:00-17:00	生きた現場から学ぶ —— 問いを育てるケーススタディ	ゲストスピーカー 高柳敦 [元京都大学大学院 農学研究科 准教授] 石井健一郎 [株式会社 Seed Bank 代表取締役/ 農学博士/微細藻類ハンター] 谷村あゆみ [名古屋大学 未来社会創造機構 脱炭素社会創造センター イノベーション部門 特任講師]
4 7月19日[土]- 7月20日[日] (1泊2日)	フィールドワーク/ 素材と命にふれ、 自ら未来の暮らしを編みなおす —— ビジョンを描く旅へ	
5 7月27日[日] 13:00-17:00	メンタリング/ システミックデザイン —— システムへの介入戦略を検討する	
6 8月2日[土] 13:00-17:00	最終発表	

企画設計・運営管理 中原有紀子 [京都大学 成長戦略本部統括事業部 エコシステム構築領域 イノベーション マネジメント サイエンス部 研究員]

期待する受講生像

- i 社会的インパクトを生む志向を持っている
- ii 起業や研究者を志す学生
- iii 社会課題に関心がある人、アントレプレナーシップに興味がある人
- iv サーキュラーエコノミー（循環経済）を深く考えたいと思っている人

対象者 大学生、大学院生、研究者、社会人

募集人数 24名程度（選考あり）

応募要件 プログラムの全ての講義に対面で出席が可能なこと
各回で提示される課題に積極的に取り組めること
プログラム終了時に行う詳細なアンケートに必ず回答すること

問い合わせ 京都大学 成長戦略本部統括事業部 エコシステム構築領域
イノベーション マネジメント サイエンス (IMS) 部
e-mail: ims@saci.kyoto-u.ac.jp

申込締切 2025年6月22日[日] 21時

発表 選考結果は2025年6月25日[水] 17時までに通知します

申込URL <https://forms.gle/XBKJ5qHmMAYNuBpt9>

